

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 2月 25日

事業所名 あさがおねっと滝井

保護者等数(児童数) 20 回収数 8 割合 40%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2			十分広いと思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8				そう思います。	職員研修を定期的 to 実施し適切な専門性をもって支援を行う。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8				玄関に段差がなく、室内にも手すりがあります。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6	2			面談をして支援計画を作成してもらっています。	継続的に利用者・保護者のニーズを分析して支援計画を作成する。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7	1			週ごとのプログラムを工夫されていると思います。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5			わかりません。	今後積極的に行う。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8				契約の時に説明してもらいました。	契約時に説明を行う。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1			連絡帳での報告や送迎の時間にお話ししてもらっています。	連絡帳・送迎時などでの日々の報告を継続して行う。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	2			電話や面談で相談に乗ってもらっています。	懇談会・面談等で継続して助言等の支援を行う。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8				電話や面談で相談に乗ってもらっています。	年2回の懇談会を今後も行う。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				対応窓口があり、しっかり対応してもらっています。	相談窓口を設け、迅速な対応を今後も行う。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8				絵カードや掲示板で情報の伝達がされています。	毎月の活動予定表配布、日々の取り組みや個別療育について継続して保護者に知らせる
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8				おたよりやブログの発信があります。	重要事項説明書に基づき十分注意し、取り扱いについて保護者に周知する。
	14 個人情報に十分注意しているか	3				してもらっています。	重要事項説明書に基づき十分注意し、取り扱いについて保護者に周知する。
非常時 等	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	1			契約時にマニュアルについて質問をしたところ丁寧に説明してもらいました。	事業所入口にマニュアルを掲示しているが、周知が不十分であるため、会報等で周知を行う。

すの 対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1			避難訓練が定期的にあります。	定期的に避難訓練・勉強会を行う。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8				とても楽しみにしています。	今後も楽しく通所して頂ける支援内容・活動プログラムを検討する。
	18	事業所の支援に満足しているか	8				非常に満足しています。	今後も満足して頂けるよう支援内容・職員の質向上に努める。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。